

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日	定時株主総会 3月31日 剰余金の配当 期末3月31日 中間9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	大阪市中央区伏見町三丁目6番3号(〒541-8502) 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話 0120-094-777(通話料無料)
公告方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.dnt.co.jp/ ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
単元株式数	1,000株
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部(証券コード4611)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

>>「大日本塗料公式ホームページ」リニューアルのご案内

<http://www.dnt.co.jp/>



より見やすく、より快適にご利用できるウェブサイトを目指し、デザインやメニュー構成を3月1日に一新いたしました。ぜひアクセスしてください。



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

第133期報告書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

DNT
DAI NIPPON TORYO

大日本塗料株式会社

持続的成長力と
グローバル展開力を持つ
企業への飛躍を目指し、
グループを挙げて
取り組めます。



代表取締役社長
いわさ とし じろう
岩浅 壽二郎

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

このたびの平成28年熊本地震により被災されました皆様にご心よりお見舞い申し上げます。

さて、当期におけるわが国経済は、政府の経済対策や日銀の金融緩和政策を背景に、企業利益の改善や設備投資の持ち直しが見られ、景気は緩やかな回復基調を辿りました。一方で消費マインドには停滞感が残り、新興国にも景気減速が見られる等、先行きは依然として不透明な状況にありました。

このような状況のもと、当社グループは、当期を「中期経営計画」の2年目として「グループ業績を着実に成長軌道に乗せ、最終年度に繋げる期」と位置づけ、収益基盤の強化を図るとともに

にグループ体質のさらなる改善にも積極的に取り組みました。

この結果、当期の連結業績につきましては、売上高は、763億8千8百万円(前期比 4.6%増)、利益面につきましては、営業利益は58億5千8百万円(同 14億3千万円増)、経常利益は55億5千9百万円(同 10億6千1百万円増)、親会社株主に帰属する当期純利益は36億1千4百万円(同 8億5千7百万円増)となりました。

海外塗料事業や照明機器事業での在庫見直し等に伴う一過性の損失が発生したものの、原材料安の追い風もあり、連結業績は「増収・増益」となり、3年連続で営業利益及び経常利益は最高益を更新いたしました。

以上の業績から当期の期末配当金につきましては、内部留

保の状況及び今後の安定配当継続の必要性等を総合的に判断し、50銭増配の1株当たり3円50銭とさせていただきます。さらに昨年に引き続き、総合的な株式価値向上策として、「自己株式の取得」と「株主優待」を実施させていただくことといたしました。ご理解賜りますよう、お願い申し上げます。

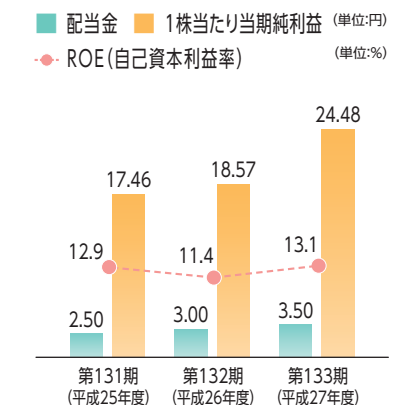
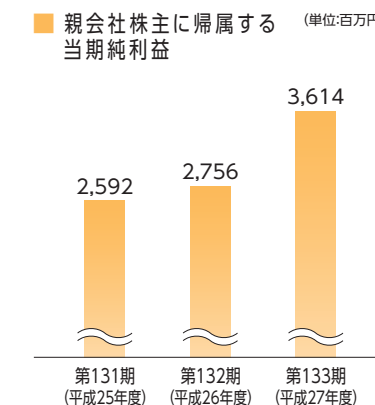
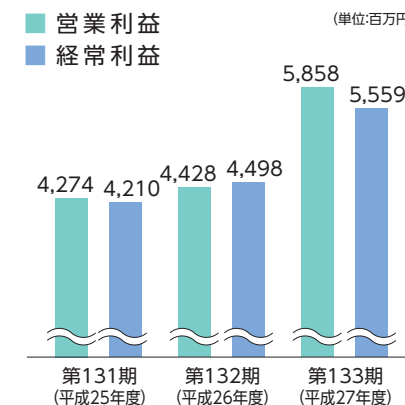
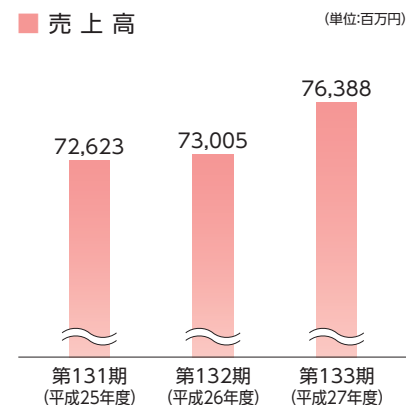
最後に当社は、「中期経営計画」のもと、前中期経営計画で築いた土台をベースに、より攻めに軸足を移し、「持続的成長力とグローバル展開力を持つ企業へのステップアップ」を目指してグループを挙げて取り組んでまいる所存です。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年6月

財務ハイライト

Financial Highlights ●



※「企業結合に関する会計基準」等を適用し、当連結会計年度より、「当期純利益」の科目表示を「親会社株主に帰属する当期純利益」としております。

国内塗料事業

国内塗料事業では、市況が低迷するなか、建材分野での需要の回復や建築分野における塗り替え需要等が好調であるほか、昨年1月に設立した粉体塗料製造会社の寄与もあり、増収となりました。利益面では、高付加価値品の拡販や経費削減に努めた結果、大幅増益となりました。



九州電力(株)新大分発電所(煙突)▶

平成27年4月に竣工した九州電力(株)新大分発電所第3号系列(第4軸)増設工事に伴い、新設された煙突に当社の厚膜形ふっ素樹脂塗料[VフロンHBクリーンスマイル]が塗装されています。

海外塗料事業

海外塗料事業では、主力のタイにおける自動車生産量の低迷等で東南アジア地域は減収となりましたが、上期に構造物分野の販売が伸びた中国やメキシコの売上が寄与し、売上は前期並みとなりました。利益面では、原材料価格の下落や高付加価値品の拡販により増益となりました。



▲タイDNTペイント

タイDNTペイントは昭和45年操業。当社海外最大拠点として、日系メーカー向けを中心に自動車部品・プラスチック塗料、工業用塗料全般を製造販売。今後は構造物塗料の東南アジア拠点として拡販にも努めます。

照明機器事業

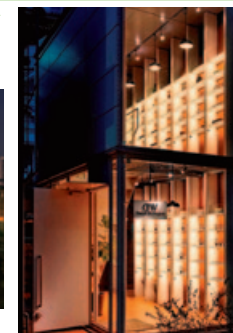
照明機器事業では、小売業界の新規出店や改装需要が増加するなど堅調な地合いを受け、LED部門が続伸し、増収となりました。一方、利益面では、新基幹システムの導入や照明のLED化伸展に伴う蛍光灯関連の在庫評価基準の見直しにより、減益となりました。



▶ Daniel Wellington原宿(ダニエル・ウェリントン) 施主:株式会社T-PLANNING(旧株式会社ビヨングール) 撮影:金子俊男



▲神奈川県本庁舎(スマートイルミネーション横浜 2015~まちなか展示会~)



◀CPライン

蛍光色材事業

蛍光色材事業では、国内ではヘリサイン需要や駅ホームの安全注意喚起のために塗装される蛍光塗料の需要が拡大し、海外でも衣料向けの蛍光顔料が堅調に推移したことから、増収・増益となりました。



▼量水標



鉄道の駅プラットフォームからの転落防止の安全対策として、CPライン(ホーム端部に危険を示す色で塗装)や、量水標(河川の水位表示)に当社グループのシンロイヒ(株)の蛍光塗料が採用されています。

その他事業



カーテンウォールの改修需要に応える 「Vフロン#200スマイルRBメタリック」を新発売

わが国で超高層建築物の先駆けとなった霞が関ビル（昭和43年完成）の外壁を飾ったのは金属製カーテンウォールでした。金属製カーテンウォールは、建築構造上取り外し可能な壁で、現在、多くの高層ビルやホテルの外壁に採用されています。

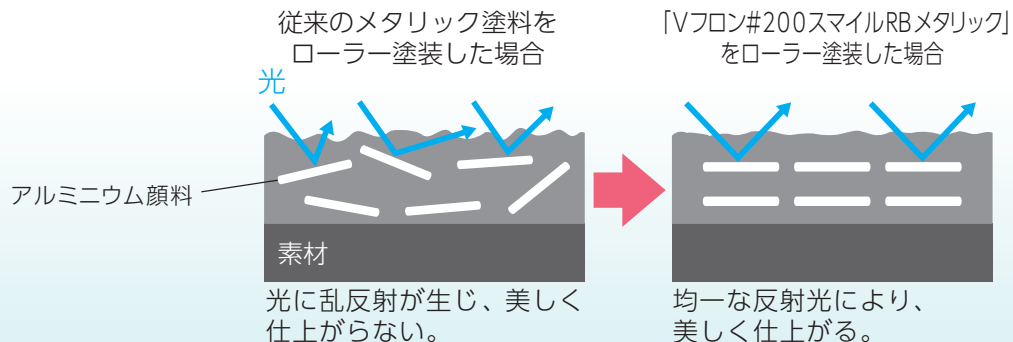
この金属製カーテンウォールの塗装にはさび等の発生を防ぎ、高級感を出すために、外観上キラキラと光輝くメタリック塗料が使用されています。例えば、乗用車のシルバーメタリック色が代表例です。このメタリック塗料には、アルミニウムフレークと呼ばれる板状の小さなアルミニウム顔料が含まれており、塗装方法としてはアルミニウム顔料を均一に配向（配置）させるため、塗装工場等で塗料を吹き付けて塗装するのが一般的です。

塗装工場でメタリック塗料が塗装された高級感のある金属製カーテンウォールも経年劣化すると、再塗装が必要となります。メタリック塗料を再塗装するには、金属製カーテンウォールを取り外して、塗装工場で塗装する方法等がありますが、非常にコストがかかります。また、高層ビル等におけるスプレー塗装では、大掛かりな養生作業や塗料の飛散等の課題もあります。

こうした問題を解決するために当社が開発したのが、弱溶剤系二液反応硬化形ふっ素樹脂塗料「Vフロン#200スマイルRBメタリック」です。

同製品の最大の特長は、スプレー塗装を必要とせず、ローラーで塗装できることです。当社の技術開発陣は、独自のアルミニウム顔料の配向技術を駆使してアルミニウム顔料が平行に並ぶように補正するとともに、スプレー塗装でなければ困難であった金属製カーテンウォールのメタリック感の再現に、高所塗装にも安心して現場塗装も容易なローラー塗装への作業転換を可能としました。その成果は大手ゼネコン各社からも注目されています。なお、メタリック塗装された金属性カーテンウォールのほか、陽極酸化で皮膜された金属製カーテンウォールにも塗装することが可能です。

高付加価値製品である同製品は、素地適性万能形シーラー「マイティー万能エポシーラー」と組み合わせることで金属製カーテンウォールの改修だけでなく、様々な素材に対しても塗装することができますので、様々な分野への展開が期待できる新製品です。



北海道新幹線「新函館北斗駅舎」に当社塗料が採用



▲新函館北斗駅舎 (JR北海道承認済)

平成28年3月26日開業の本州と北海道を結ぶ北海道新幹線の大きな拠点となる「新函館北斗駅舎」に、当社塗料が採用となりました。

建設工事は平成25年夏以降より開始され、塗装するには厳しい冬の寒い環境をのりこえて、開業を迎えました。鉄骨のさび止め塗料には、

変性エポキシ樹脂塗料「エポオールZ」、上塗りには建築用ふっ素樹脂塗料「Vフロン#200上塗」が採用され、外壁・内壁・手摺・天井や駅ホームの鉄骨部分などの多くの部分に塗装されています。

機関投資家向け決算説明会を開催

当社は、平成27年6月の「コーポレートガバナンス・コード」適用に伴い、同年10月29日に「コーポレートガバナンスに関する基本方針」（以下、「本方針」）を制定しました。本方針に従い、同年11月25日（水）に「2016年3月期第2四半期決算説明会」、平成28年5月30日（月）に「2016年3月期決算説明会」を開催し、決算実績及び経営戦略などについて説明をいたしました。説明会の内容は、当社ホームページ「IR情報」に掲載しています。今後も定期的に開催する予定です。



▲2016年3月期決算説明会

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当 期	前 期
	平成28年3月31日現在	平成27年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	31,779	32,458
固定資産	35,953	36,794
有形固定資産	23,629	24,271
無形固定資産	753	716
投資その他の資産	11,570	11,805
資産合計	67,732	69,252
(負債の部)		
流動負債	29,704	33,202
固定負債	7,408	7,608
負債合計	37,112	40,811
(純資産の部)		
株主資本	23,382	20,455
その他の包括利益累計額	5,265	6,018
新株予約権	55	—
非支配株主持分	1,917	1,967
純資産合計	30,620	28,441
負債純資産合計	67,732	69,252

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

※「企業結合に関する会計基準」等を適用し、当連結会計年度より、「少数株主持分」の科目表示を「非支配株主持分」としております。

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当 期	前 期
	平成27年4月1日から平成28年3月31日まで	平成26年4月1日から平成27年3月31日まで
売上高	76,388	73,005
売上原価	54,481	52,965
売上総利益	21,906	20,040
販売費及び一般管理費	16,047	15,612
営業利益	5,858	4,428
経常利益	5,559	4,498
親会社株主に帰属する当期純利益	3,614	2,756

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

※「企業結合に関する会計基準」等を適用し、当連結会計年度より、「当期純利益」の科目表示を「親会社株主に帰属する当期純利益」としております。

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当 期	前 期
	平成27年4月1日から平成28年3月31日まで	平成26年4月1日から平成27年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,785	4,783
投資活動によるキャッシュ・フロー	△718	△1,838
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,317	△2,977
現金及び現金同等物に係る換算差額	△120	96
現金及び現金同等物の増減額	628	64
現金及び現金同等物の期首残高	2,444	2,379
現金及び現金同等物の期末残高	3,072	2,444

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

発行可能株式総数 466,406,000株

発行済株式の総数 148,553,393株

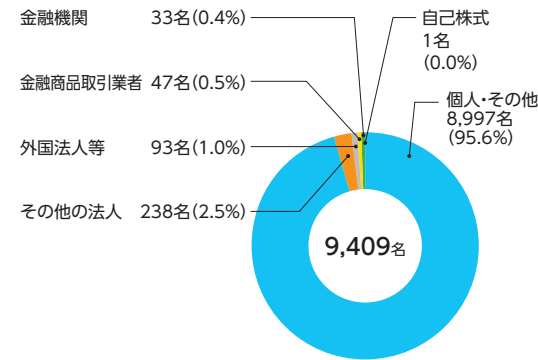
株主数 9,409名

大株主(上位10名)

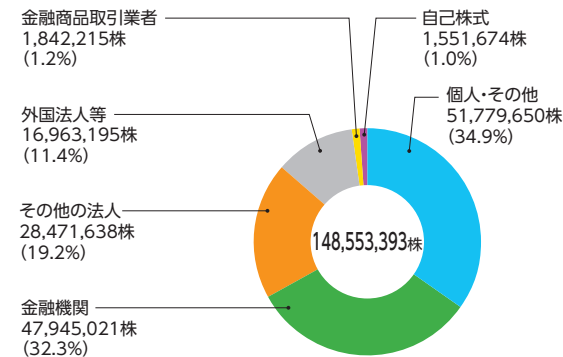
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
明治安田生命保険相互会社	7,000	4.7
株式会社三菱東京UFJ銀行	6,141	4.1
三菱商事株式会社	5,942	4.0
DNT取引関係持株会	5,875	3.9
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5,410	3.6
東京海上日動火災保険株式会社	5,068	3.4
富国生命保険相互会社	5,002	3.4
株式会社島津製作所	5,001	3.4
田邊康秀	4,437	3.0
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,255	2.2

(注)平成27年9月18日の買付をもって自己株式の取得を終了いたしました。
持株比率は自己株式(1,551,674株)を控除して計算しております。

所有者別株主分布状況



所有者別株式分布状況



- 商号 大日本塗料株式会社
Dai Nippon Toryo Company, Limited
- 本社 〒554-0012 大阪市此花区西九条6-1-124
- ホームページ URL:http://www.dnt.co.jp/
- 設立 昭和4年(1929年)7月25日
- 資本金 8,827百万円
- 従業員数 644名(連結:2,158名)
- 主要な事業内容 塗料・ジェットインクの製造、販売、
各種塗装機器装置の販売、塗装工事等
- 主要な事業所
 - 大日本塗料株式会社
本社(大阪)、東京営業本部(東京)
那須工場(栃木)、小牧工場(愛知)
東京、名古屋、大阪 他16営業所

- 子会社及び関連会社
 - 国内塗料
 - 大日本塗料北海道(北海道)、日塗化学(株)(東京)
 - 千葉化工(株)(千葉)、大東ペイント(株)(神奈川)
 - 日東三和塗料(株)(滋賀)、サンデーペイント(株)(大阪)
 - DNTサービス(株)(大阪)、ジャパンパウダー塗料製造(株)(大阪)
 - 岡山化工(株)(岡山)、DNT山陽ケミカル(株)(広島)
 - ビーオーケミカル(株)(福岡)
 - 海外塗料
 - Thai DNT Paint Mfg.Co.,Ltd.(タイ)
 - DNT Singapore Pte.,Ltd.(シンガポール)
 - DNT Paint(Malaysia) Sdn.Bhd.(マレーシア)
 - PT. DNT INDONESIA(インドネシア)
 - Lilama3-Dai Nippon Toryo Co.,Ltd.(ベトナム)
 - 迪恩特塗料(上海)有限公司(中国)
 - DAI NIPPON TORYO MEXICANA, S.A. de C.V.(メキシコ)
 - DNT KANSAI MEXICANA S.A. de C.V.(メキシコ)
 - 照明機器
 - DNライティング(株)(神奈川)、ニッポ電工(株)(秋田)
 - 蛍光色材
 - シンロイヒ(株)(神奈川)
 - その他
 - 日塗エンジニアリング(株)(神奈川)、ニットサービス(株)(大阪)

役員 (平成28年6月29日現在)

代表取締役社長	岩 浅 壽二郎	執行役員	間 嶋 則 博	常勤監査役 (社外監査役)	福 岡 靖 之
取締役専務執行役員	瀬 古 宜 範	執行役員	小 林 正 樹	常勤監査役	室 内 聖 人
取締役常務執行役員	三 角 高 敏	執行役員	石 渡 正 秀	監 査 役 (社外監査役)	藤 井 浩 之
取締役常務執行役員	里 隆 幸	執行役員	高 松 厚		
取締役執行役員	野 田 秀 吉	執行役員	山 本 基 弘		
取締役執行役員	須 川 哲 夫	執行役員	梶 田 宏 行		
取締役(社外取締役)	岩 田 哲 夫	執行役員	木 村 直 之		
取締役(社外取締役)	灰 崎 恭 一				